

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
解剖学Ⅱ	1年次 後期	必修	講義	1単位（15時間）	渡辺 しき子	
授 業 概 要						
<p>日々営まれる日常生活行動の視点からからだの構造と機能を学習する。解剖学Ⅱでは身体の恒常性を維持するための調節機構および話すこと、聞くこと、生殖について学ぶ。</p> <p>解剖学と生理学は切り離せない関係にある。「生理学Ⅰ・Ⅱ」の学習内容と合わせて学習することでより人体の構造と機能の理解が深まる。</p>						
到 達 目 標						
<p>1. 身体の恒常性を維持するための調節機構について説明する。</p> <p>2. 話す・聞く、子どもを産むしくみについて説明する。</p> <p>3. 外部環境とからだについて説明する。</p>						
回	学 習 内 容				担当教員	
1-3	1. 恒常性維持のための調節機構 1) 神経性調節 2) 中枢神経 3) 液性調節 4) ストレスと恒常性の維持				渡辺 しき子	
4	2. 話す・聞く					
5,6	3. 子どもを産む 1) 男と女 2) 遺伝子組み換え 3) 性交と受精 4) 赤ちゃん 5) 生殖を支えるホルモン 6) 出産					
7	4. 外部環境とからだ 1) 人類誕生のころの覚醒している時間は何のための時間だったのか 2) 食べ物はいつでも手に入ったわけではなかった 3) 夜は睡眠の時間だった 4) 筋肉を使っていた 5) 現代人の環境とからだ					
学 習 方 法						
講義、課題学習、グループワーク 予習・復習を行い、自分の身体を意識しながら学ぶ。						
評 価 方 法						
〔評価方法〕 科目修了試験、課題学習 *詳細は講義の最初に提示する。						
先 修 科 目						
なし						
教 科 書、参 考 書						
〔教科書〕 看護 形態機能学 生活行動からみるからだ 菱沼 典子 日本看護協会出版会						